



三菱UFJ 東京関連オープン(米ドル投資型)／(円投資型)【愛称:東京ウェイ】 設定後の運用状況と今後の市況について

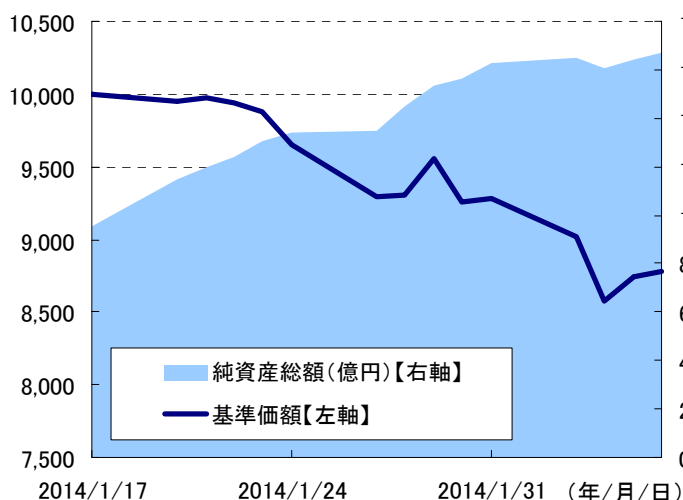
追加型投信／国内／資産複合

当ファンドは2014年1月17日の設定日以降、市況を勘案しつつポートフォリオの構築を進め、当初ポートフォリオの構築をいたしましたので、ご報告申し上げます。

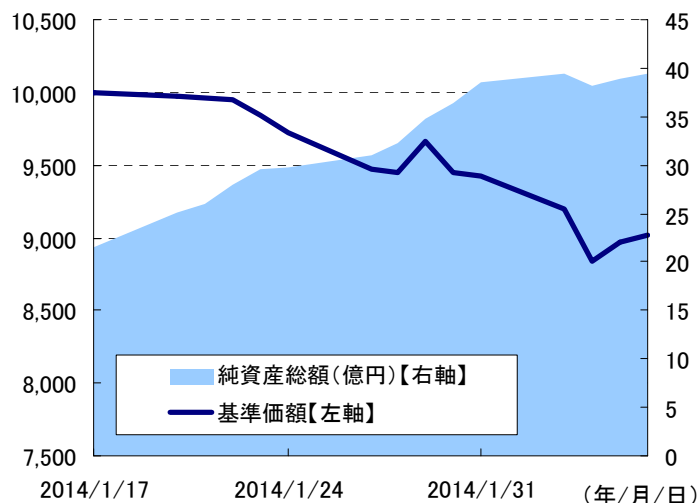
今後ともファンドのパフォーマンス向上をめざし、銘柄の分析・選定に努めてまいります。引き続き「三菱UFJ 東京関連オープン(米ドル投資型)／(円投資型)【愛称:東京ウェイ】」をご愛顧くださいますようお願い申し上げます。

ファンドの運用状況(期間:2014年1月17日(設定日)～2014年2月6日)

【米ドル投資型】



【円投資型】



- ・基準価額は設定日前営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額は、信託報酬控除後の値です。

設定後の投資環境と今後の市況見通し

▶ 設定後の投資環境

設定来のファンドの基準価額は国内株式市況の影響を受けて軟調となりました。この背景として、米国量的緩和縮小に伴い新興国からの資金流出が加速するなど国際経済が不安定な状況となるなか、米国で発表された1月のISM(米供給管理協会)製造業景況感指数が市場予想を下回る結果となり、米国景気の先行き不透明感が広がったこと等が挙げられます。また、国内株式市況はこれまでの上昇幅の大きさから株価変動が大きくなっていったことに加え、為替についても変動幅が拡大しており、投資家がリスクを回避する姿勢を強めたことから、円高米ドル安となったことなども影響しました。

▶ 今後の市況見通し

国内株式市況の下落を背景に足下の基準価額は軟調に推移したものの、今後は空港、鉄道、道路などの整備や人口流入の継続などにより東京圏の経済活性化が見込まれ、当ファンドが投資対象とする東京圏における「不動産・インフラ」、「消費・サービス」、「交通・物流」、「観光」等のテーマは大いに注目されることが期待されます。また、国内株式市況についても、日銀の金融緩和を背景とした円安の進行により、企業業績の改善が進むとみられるとともに、企業全体の景況感も改善傾向にあることから、中期的には、政府の成長戦略や日銀の追加金融緩和への期待の高まりなどが、株式市況を下支えし上昇基調に回帰すると考えられます。

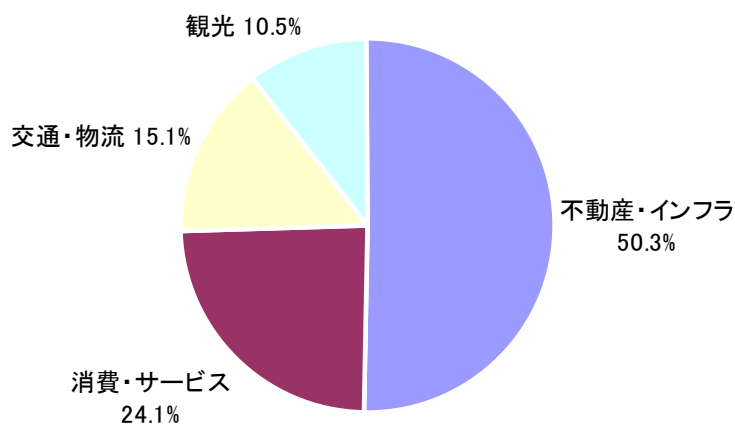
- ・上記は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・上記見通ししないし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。



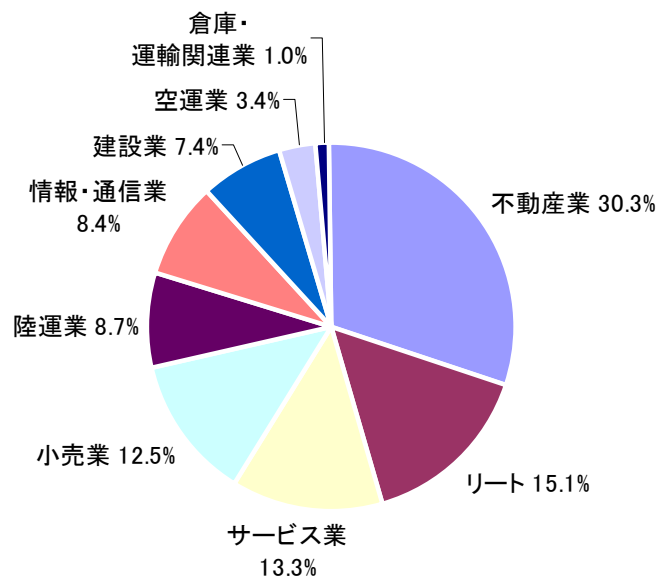
三菱UFJ 東京関連オープン(米ドル投資型)／(円投資型)【愛称:東京ウェイ】 設定後の運用状況と今後の市況について

当ファンドが投資している「東京関連マザーファンド」の運用状況（2014年2月6日現在）

投資テーマ別組入比率



業種別組入比率



・上記は、三菱UFJ投信が独自に分類したものです。

・上記は、東証33業種に基づいて分類しています。

・投資テーマ別組入比率および業種別組入比率は現物株式評価額に対する割合です。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

組入上位10銘柄(2014年2月6日現在)

(組入銘柄数: 60銘柄)

	銘柄	業種	投資テーマ	比率
1	三菱地所	不動産業	不動産・インフラ	5.7%
2	東京建物	不動産業	不動産・インフラ	5.7%
3	三井不動産	不動産業	不動産・インフラ	4.9%
4	東日本旅客鉄道	陸運業	交通・物流	4.4%
5	高島屋	小売業	消費・サービス	4.0%
6	住友不動産	不動産業	不動産・インフラ	3.5%
7	大和ハウス工業	建設業	交通・物流	3.4%
8	日本航空	空運業	観光	3.4%
9	日本ビルファンド投資法人	リート	不動産・インフラ	3.0%
10	ジャパンリアルエステイト投資法人	リート	不動産・インフラ	3.0%

・比率は純資産総額に対する割合です。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

・上記は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。

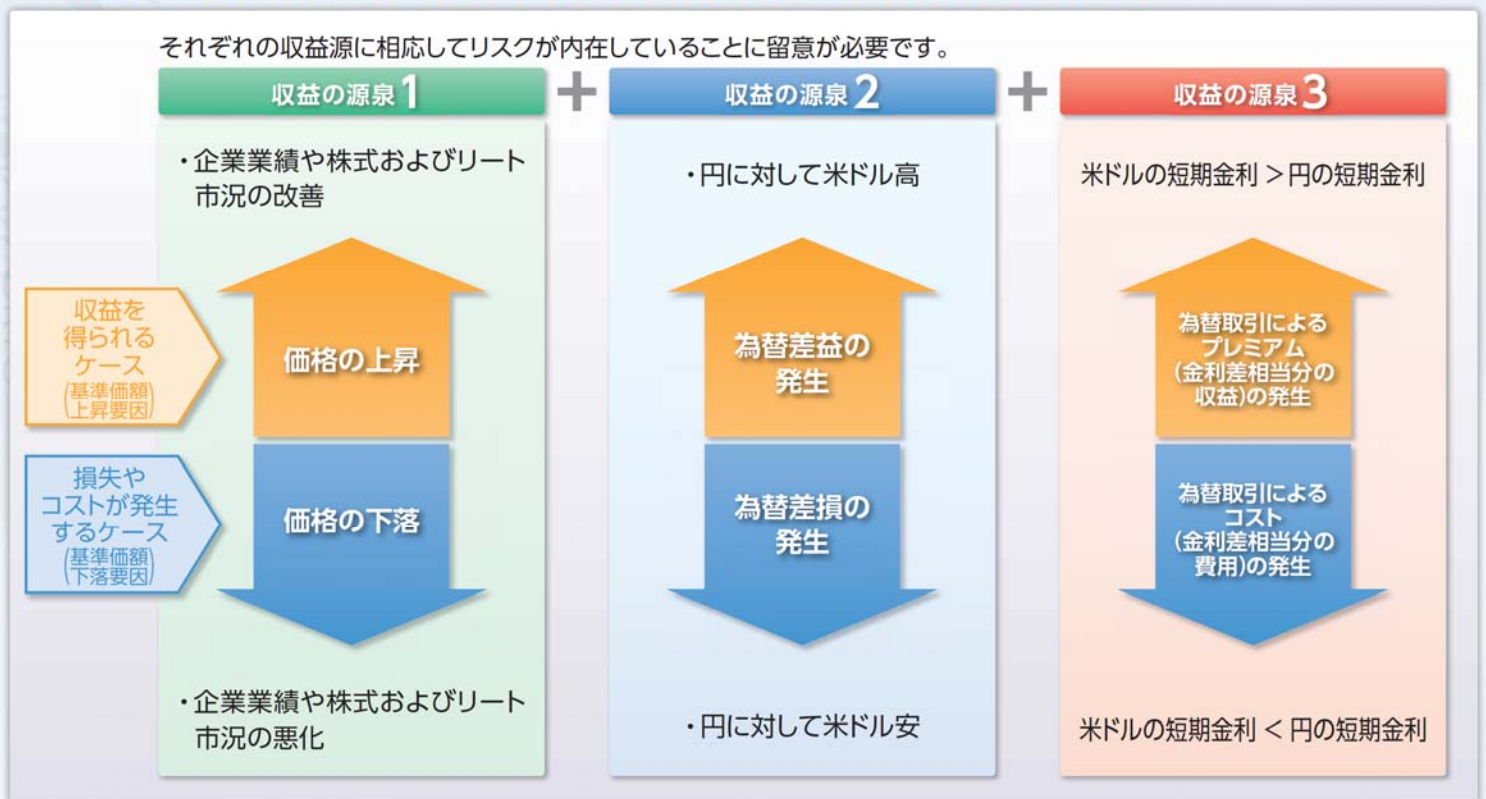
※後記の「当資料に関するご注意事項等」をご覧ください。

米ドル投資型のファンドの収益のイメージ

1 ファンドの収益の源泉としては、以下の3つの要素があげられます。

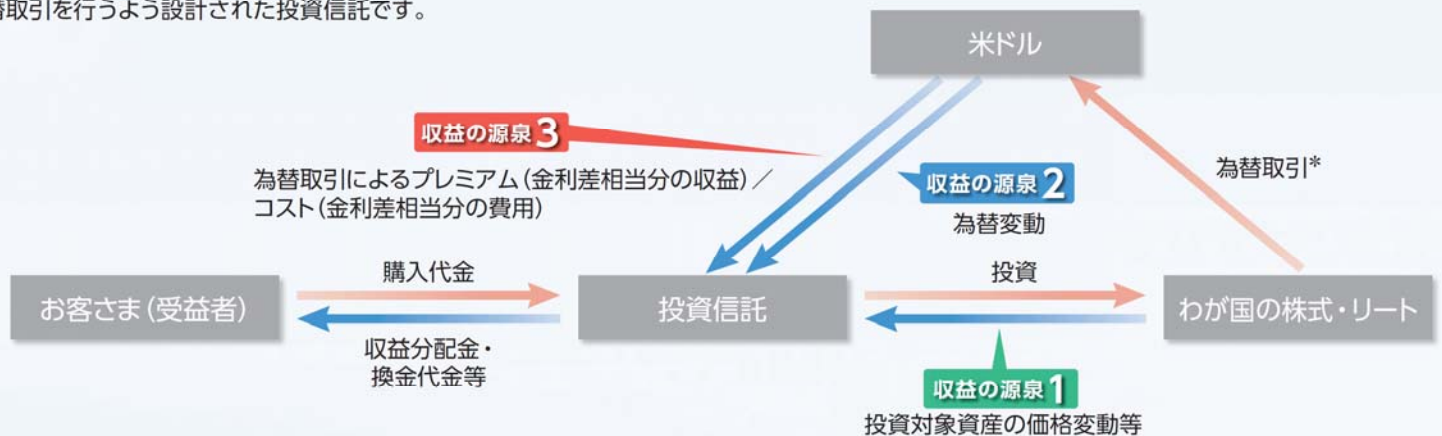


1 ファンドにおける収益の源泉と基準価額の変動要因は以下の通りです。



ファンドの収益のイメージ図

ファンドは、主にわが国の株式およびリートへの投資に加えて、円売り・米ドル買いの
為替取引を行うよう設計された投資信託です。



* 米ドルの対円での為替変動リスクが発生することに留意が必要です。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ファンドのリスクについては、「投資リスク」をご参照ください。



三菱UFJ 東京関連オープン(米ドル投資型)／(円投資型)【愛称:東京ウェイ】 設定後の運用状況と今後の市況について

ファンドの特色

- ＜特色1＞わが国の金融商品取引所に上場している株式および不動産投資信託証券(リート)に実質的な投資を行います。
- ＜特色2＞「米ドル投資型」と「円投資型」をお選びいただけます。
- ＜特色3＞年1回の決算時に分配を行います。

毎年1月15日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況環境および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。



市場リスク

(価格変動リスク)

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、不動産投資信託証券(リート)の価格は保有不動産等の価値やそこから得られる収益の増減等により変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式や組入不動産投資信託証券の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

(為替変動リスク)

＜三菱UFJ 東京関連オープン(米ドル投資型)＞

保有円建て資産について、円売り・米ドル買いの為替取引を行うため、米ドルの対円での為替変動の影響を大きく受けます。為替取引を行う場合で、米ドルの金利が円の金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替取引によるコストとなります。

＜三菱UFJ 東京関連オープン(円投資型)＞

保有円建て資産について、為替取引を行わないため、為替変動リスクはありません。



信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。



流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。また、不動産投資信託証券は、株式と比べ市場規模が小さく、一般的に取引量も少ないため、流動性リスクも高い傾向にあります。

当資料に関するご注意事項等

- 当資料は「三菱UFJ 東京関連オープン(米ドル投資型)／(円投資型) (愛称:東京ウェイ)」の運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、勧誘を目的に作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。



三菱UFJ 東京関連オープン(米ドル投資型)／(円投資型)【愛称:東京ウェイ】 設定後の運用状況と今後の市況について

お客さまにご負担いただく費用

購入時	購入時手数料	3.15%^{※1} (税抜 3%) を購入金額 ^{※2} に乗じて得た額とします。 ※1 消費税率が8%になった場合は、 3.24% となります。 ※2 購入金額＝購入申込受付日の基準価額×購入口数
保有期間中	運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額× 年1.6275%[※] (税抜 年1.55%) ※消費税率が8%になった場合は、 年1.674% となります。 上場投資信託(当ファンドでは不動産投資信託)は市場の需給により価格形成されるため、 上場投資信託の費用は表示していません。
	その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
換金時	信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額× 0.3%

お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

《購入時手数料に関する留意事項》

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体的な金額例は以下の通りです。

【金額を指定して購入する場合】

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、お支払いいただく100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

ご購入の際には、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

●投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号
 加入協会 日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会
 一般社団法人金融先物取引業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

●設定・運用は



三菱UFJ投信

三菱UFJ投信 オリジナルキャラクター ©kero

商号等 三菱UFJ投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
 お客様専用フリーダイヤル **0120-151034** 受付時間/9:00~17:00
 (土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)
 ホームページアドレス **http://www.am.mufg.jp/**

※後記の「当資料に関するご注意事項等」をご覧ください。